

みなみかぜ便り

Vol. 15
2021.01

無所属議員も捨てたもんじゃない!!

発行：神戸市会 無所属 上原みなみ
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館27階



R2.12.8

一般質問

コロナ時代の神戸市政はこの3つが重要!

不要な支出を減らす

お金を市内で回す

新たな財源を入れる

減

らす 新型コロナウイルス禍による事業見直し

上原 今年度の市税等の収入は、当初予算より90億円減収。そこで10%の執行留保が5月25日付で各局室区長宛に通達された。令和3年度予算編成についても、職員の「やめる勇氣」をもって事務事業の見直しや業務改革、組織の最適化等が財源分配の考え方として掲げられているが、行財政改革方針2025によると、その権限は各局・室・区長に「自主経営」の視点を持って取り組むよう委ねられている。

経営経験が無い各局・室・区長に「自主経営」の視点を持った経営能

力を求めるのは無理。そこで、以下の様な客観的指標を提案し、全ての事業見直しを求めた。

その事業は…

誰のため?

対象人数は?

何を?(能力 or 暮らしの質 or 人生設計 or その他)

どう変えるのか?

今西副市長 事業ごとに必要性を十分検討して、実効性のある事務事業見直しに努めていく。

回

す 財源の最大限市内循環による神戸経済維持・活性化

現在、神戸市役所において外部委託をしている発注先は、市外企業が多い。

広報誌KOBE

大阪

9356万円

神戸市 WEBサイト

静岡

1億7789万円

KOBEぽすと

岡山

792万円

マイナポイント広報

東京

2500万円

空き家活用広報

大阪

986万円

1) 財源の市内循環と広報

上原 委託・指定管理事業等の行政由来の仕事は市内の事業者に請け負って頂き、財源を市外に出さないという想いで取り組んで頂きたい。そこで、公募の際の市内事業者加点10%にとどまらず、まずは市内事業者限定で公募を行うべき。その際、これまで通りの広報なら応募者が増えないので、広報誌KOBEやSNS等を使って一層広く事業者伝えることに加え、例えば「KOBEぽすと」や「神戸市LINE」など既存のツールを使い、市内事業者に公募等の広報を有効に行う体制を整えるべきではないか?

今西副市長 委託契約は、履行が可能なものは市内事業者のみを対象にすることを徹底していく必要がある。また指定管理者の選定についても、公募時の審査項目に市内企業の積極的な活用・地域経済活性化の提案があるかを必須項目としているが、今後とも徹底をしていきたい。それに加え、市内事業者に対して、情報を一斉に発信し、できるだけ多くの事業者に知っていただくことが大変重要だと思っている。(市の)ホーム

ページを改良する形で、例えば市民や事業者の方がホームページにアクセスするときどんな情報が欲しいのかという登録をしていただき、オプトイン型の情報提供を導入できないかということを考えている。

上原 10月14日の私の総括質疑以降は、市内事業者加点10%がほぼ守られているが、大事なところは市内加点が10%か20%かという問題ではなく、神戸市役所の仕事は、可能な限り市内事業者に請け負って頂くという主義を持つということ。事業スケジュールを早めに立てることで、市内限定公募を行い、その段階で該当事業者がいなかった場合に、市外含めた公募を行うという2段階の公募を推進すべきと考える。

今西副市長 委託審査会の見直しで地元企業のみを公募にできないかということ非常に厳格にチェックする仕組みをとっていき、検証した上で、必要であればご提案の方法も検討していきたい。

2) 優良な市内事業者に発注

上原 優良な市内事業者に発注するためには、最初の応募のハードルを下げる必要がある。どんな事業があるのか分野別に説明したり、受注するための書類の書き方、手順等の説明動画を作り、いつでも視聴できるようにしたり、広報KOBEで特集記事にしたり、これまでしてこなかった取り組みを行うべき。又、今後は、どうしても市内事業者では見つからず、市外の事業者が発注する場合、その理由を記し、行財政局の

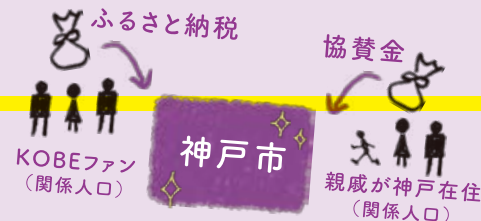
許可を受けるようにすべきだ。こうして財源の市内循環が徹底されれば、企業を市内誘致するためのインセンティブにもなる。

新型コロナウイルスの影響で困窮する市内事業者を救い、育て、市内から失業者を出さないためにも、行政由来の仕事を受けるといった選択肢を市内事業者に持っていただける様な取り組みを要望する。

入

れる

独自財源の獲得



上原 神戸市が新型コロナウイルスの影響を最小限に抑えながら、人口減少時代も見越して、魅力のある街として成長し、競争力を保持していくためには、交付税が措置される基礎的な行政サービスに加え、独自財源を用いた神戸市オリジナルの事業を展開し、個性と魅力あふれる施策を展開していかなければならない。そのためにも職員一人ひとりが、寄付金や協賛金・ふるさと納税などの独自財源をいかに集めるか、言い換えれば、いかに協賛企業や応援しようという神戸ファンを作りながら仕事を進めていくか、という視点が重要である。

など可視化して頂きたい。

今西副市長 ご指摘の通り、いろんな市の財源が大変制約される中、そういう新たな財源を確保していくということは大変重要であり、特にふるさと納税や民間資金の活用を積極的に取り入れたいと思っている。

各部署の独自財源獲得への努力を、これまで以上に促す仕組みを作り、各部署が獲得した独自財源の一覧表を予算資料の中に入れる

上原 「神戸」はオシャレなイメージやブランド力がまだあるので、観光以上移住未満の「関係人口」を増やしやすいい街だと思う。そこで、まだ競争が始まっていないこの分野で、いち早くプロモーションをし、関係人口の囲い込みをし、独自財源獲得に尽力する様要望する。



新成人の
皆さま

おめでとうございます！

楽しみにされていた成人式が急に延期になり、残念だったと思います。新型コロナウイルス感染症が落ち

着けば、必ず実施される様に取り組むと同時に、マスクを外して写真撮影が出来るフォトスポットを市内数カ所に設置できないかと考えております。新成人の皆さんの声を市政に届けたいので、**ご賛同の署名をお願いします▶**



市内の新型コロナウイルス感染症情報

直近3週間の感染者は急増しています。

	3/3~5/20	6/23~9/23	9/25~1/13
陽性件数(1週間最大)	67件(4/6~4/12)	135件(8/6~8/12)	500件(1/7~1/13)
感染源判明率	75.8%	59.3%	62.4%(1/7~1/13)
無症状率	3.5%(10/285)	18.9%(129/681)	19.2%(625/3250)
市内入院数(うち重症者) 宿泊療養施設利用数	4/25(ピーク時) 106人(9人) 34人	8/23(ピーク時) 72人(8人) 24人	1/13時点 154人(10人) 145人

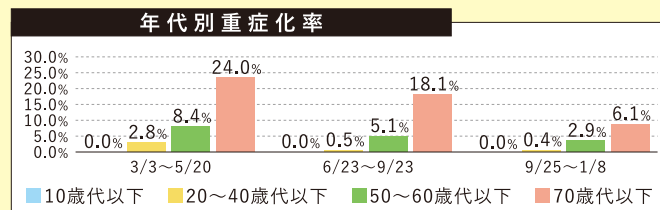
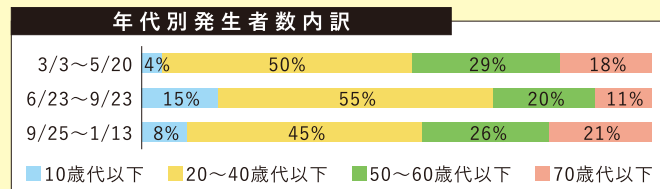
医療提供体制の現状(1/13現在)

市内病床利用率	96.2%(154/160床)
重症者病床利用率	94.9%(37/39床)
うち重症者のみの利用率	43.6%(17/39床)
入院調整のため待機中	406人(うち350人が自宅待機)

さらに25床増やし、全体で185床(うち重症者向け51床)に向け調整中だが、医療提供体制は限界

このままでは脳卒中や心疾患など救急医療に影響「助かる命も助からない」

新型コロナウイルスに感染したかも?と思われたら 新型コロナ専用健康相談窓口
かかりつけ医か、神戸市HPからチャットボットで相談してください。 ☎ 078-322-6250



施設	件数	人数	割合
保育園・学校	9	91	8.6%
高齢・障害福祉施設	14	199	18.9%
病院	11	627	59.4%
公的機関	3	36	3.4%
民間事業所	3	27	2.6%
酒類提供飲食店	7	49	4.6%
スポーツ・娯楽施設	3	26	2.5%

第一波などと比べ、感染拡大の速度が速く、クラスター化のスピードも速い。

神戸市会議員(無所属) **上原 みなみ**

TEL 080-6150-0373 ✉ lovekitaku@gmail.com

https://minami-uehara.com

タイムリーな市政情報を
配信&ご意見・メッセージの
やりとりができますので
是非ご登録ください

